

太子町子ども・子育て会議（令和元年度第1回）会議録

1. 開催日時 令和元年5月20日（月） 15時30分～17時10分
2. 開催場所 太子町役場 議会棟 C101 会議室（全員協議会室）
3. 審議事項 子育て支援に関するアンケート調査結果について
4. 出席委員 小島早苗委員 松浦知子委員 改發裕子委員 武田英樹委員
山口昭彦委員 田中 薫 委員 井原春佳委員 岡村珠美委員
（町長部局）木村和義生活福祉部長
（教育委員会部局）栄藤雅雄教育次長 山本紀弘管理課長
5. 欠席委員 金治ゆかり委員
6. 事務局 藤野和徳社会福祉課長 和田淳子副課長
7. 傍聴者 なし
8. 審議経過及び結果 以下のとおり

【審議経過】

1. 開会
2. 町長あいさつ
3. 委員委嘱
4. 委員の紹介
5. 会長及び副会長の選出
会長に武田英樹委員、副会長に松浦委員を選出
6. 諮問
7. 議題
① 子ども・子育て支援事業計画の検証について
〈事務局より説明〉

武田会長 事務局からのただいまの説明に対して、質疑はございませんでしょうか。

井原委員 待機児童、保育園の定員に関してですが、595 人の定員に達した報告がありました。
380 人から 595 人に、約 200 人増えていますが、何年かけての増加でしょうか。

事務局 27, 28, 29 年の 3 年間で工事的な整備を行っており、最後の 30 年は、保育園からこども園へ移行したもので、建物的に整備したのではなく、教育の部分の受け入れ人数が増えたという状況です。

武田会長 ほかに質問等ございませんでしょうか。それでは、また質問がありましたら次の議題の後にでも構いませんので、よろしくお願いいたします。では次に、議題の 2 に移りたいと思います。子育て支援に関するアンケート調査結果について、引き続いて事務局のほうから説明をお願いいたします。

② 子育て支援に関するアンケート調査結果から
〈事務局より説明〉

武田会長 ただいまの説明に対して、質問等ございましたらお願いします。

田中委員 2 点、質問がございます。一つ目は、9 ページ必要な相談先のところで、専門的な相談ができる相談窓口についてですが、どのような専門的な相談を希望されているのでしょうか。

事務局 相談内容の問いを設定していないので、具体的に、この内容と言えませんが、子ども子育てに関することなので、子育ての悩みであったり、あるいは保育所やこども園への入所について、すぐに問い合わせができるような所と判断しています。

田中委員 もう 1 点は、46 ページ、これまでの施設の利用の有無のところ、キッズタイムを利用したことがないという回答が、9 割と高くなっています。私は児童館クラブを利用しておりますが、児童館クラブの二、三歳児は水曜日の午前中、四、五歳児のわんぱくクラブは 3 時からの利用です。キッズタイムは火曜日が結構多いかと思います。「はらっぱ」の絵本の読み聞かせは、第 4 水曜日の 3 時から 3 時半と、これらの活動の時間帯が重複して、利用できない時間帯があるので、利用時間が被らないよう一覧表にして太子町の広報とかに掲載していただければ、利用される方も、増えるのではないかと思います。

事務局 貴重な意見を有難うございます。担当課がそれぞれで行っているところは、町全体を調整して、それぞれが利用しやすいあり方を考えていきます。

武田会長 他に、ご意見等ございますでしょうか。私のほうから 1 点、病児保育のニーズが高い中、懸案事項として、継続的にアプローチをということで、受け入れる診療所の問題もあるということは、重々承知していますが、町として、今後新たな計画を立てていく中で、今までどおりでは難しいと推測されます。何か抜本的なアプローチというか、検討する余地はあるのでしょうか。

事務局 病児病後児保育については、いろんなところから要望等も出ています。町内の医療機関に対して、まずは希望があるかどうかを打診し、こちらから説明にお伺いするようなことも必要と考えています。その中で、国の補助金等も含めた説明をさせていただきながら、何とか確保できないかと考えています。広域での利用も構わないと県の指導があり、そのような形も一つかと思っていますが、広域利用になると、遠方へ預け

で働きに行くことになりますので、町内で何とか確保できないかと考えています。

井原委員 今回のこのアンケート調査が、今後の子育て支援計画に反映されるのだと思いますが、私もアンケートが送られてきて、回答させていただきました。ただ、昔の記憶を思い出さないといけない内容で、何日休んだかなど、思い出せない項目がありました。私の知り合いにも、アンケートが届きましたが、質問の量もすごく多かったもので、思い出せないし、回答が適当になってしまうとのことでした。この回答数だけを見ても、半数に満たしていない部分が気になります。大分偏りがあると思いますので、このほかにどういったことを検討した上で、次の子育て支援計画を策定されるのでしょうか。

事務局 アンケート結果がすべてだと思っておりません。今回の計画は社会福祉課だけでなく、教育委員会の管理課であったり、保健であればさわか健康課や、他の課とも連携し、庁内の調整の中で課題をみていきます。後は、子ども・子育て会議のほうから意見を出していただいて、数値的にどうかというものがございましたら、事務局へ伝えていただき、数値の妥当性を考えていきたいと思います。

井原委員 会長もおっしゃられていた病児保育の件ですが、無知なだけで申し訳ないのですが、病児保育という名前を聞いただけでは、どんなものなのか分かり兼ねるところがあります。名前をきいて、はい、これ賛成です、賛成でないというのは、判断しにくいと思います。結局、今、町で病児保育を進めていただいて、利用が可能になったとしても、内容がわからないと、利用につながらないということです。私達のサークルで調べたところ、神戸の方では盛んに行われているようです。そのような事例内容を、一度まとめていただき、地域にある掲示板などを利用して、病児保育ってこんなだよと周知していただいた方が、進めていただいた時に、太子町にこれがあってよかったと、より思ってもらえたら、ママ友とも話をしています。進めていただいている事と並行して、もう少し周知していただきたい。

事務局 一応検討はしていますが、まず、いつできるかは言えない段階です。もう少し煮詰まった状態になれば、このような方向で進めていますとアピールしていける。そうなった時に、何とかお母さん方に届くように、その出し方もご提案いただけたらと思っています。

武田会長 井原委員がおっしゃってる分に関して、今、国の制度的な専門用語では、お母さん方（保護者の方）に届きにくく、ニーズが発信しづらいことがあるのでしょうか。今、ぼんやりとしている中で進めていると、錯誤が生じてしまう。ですから、その前に、国が進めている事業はこういうものと、もう少し、かみ砕いた説明を、並行して進めてほしいということですね。これをしますと言うのではなくて、こんな事業を進めようとしています。皆さん、どうですかというような、事前学習的な、何か情報発信の場があったらいいのではないかとという部分で、これも一つの計画の中に盛り込むものとしても、考えていくべき内容なのかなと考えます。それでいくと、先ほどの田中委員がおっしゃられた専門的な相談というときに、子育て包括支援センターなどは、どういった機関なのかなとなるのでしょうか。私達委員の中でも、どんな時に利用するのかなど、御存じですかね。皆様のまわりの認知度とかは、どんな程度でしょうか。

- 田中委員 福祉会館をよく利用した時期があるのですが、年齢的な部分、専門的な知識の部分で対応される方によって、全く受け取り方が違ってきます。うまく伝わらないこともあり、大したことないよ、気にしないでねという感じで終わってしまい、結局、そのまま消化不良で帰ってしまうという体験が何度かありました。どの人に何を、聞いていかわからない。悩みがずっと続いて、しんどい時期がありました。こういう相談であれば、私に聞いてくださいみたいな情報があれば、声をかける保健師さんがすぐわかったり、相談内容によって、案内があつたらいいのかなと感じました。
- 武田会長 そのような機関もありながら、理解の部分ではより充実、さらに改善する必要があるのかもしれないね。ここも社会福祉課としては、連携となるのですかね。
- 事務局 そうなりますね。さわやかの方は保健師がいて、保健の方から話をさせていただく形となりますが、専門職であるがゆえに、専門的な言葉を使ってしまうことがあるのかもしれない。子ども・子育ての支援については、福祉会館に子育て包括という窓口がありますが、社会福祉課の方にも子育て支援という窓口をもつことによって、こちらに聞いてみようという選択肢が増えれば、少し改善するのかもしれない。そこはまた内部で協議したいとは思っています。
- 武田会長 重複している部分が結構あるということですかね。棲み分けがされていない部分があるのですか。
- 事務局 そうですね。職員の中でも、どちらで対応するかなということがある。
- 武田会長 場合によっては、そういうふうになると、保護者の方がたらい回しになるということもあり得るということですね。ほかに何かございますでしょうか。
- 田中委員 ファミリーサポートの件ですけれども、社会福祉課で随時募集というパンフレットをいただいて、社会福祉協議会のほうで面談をしてから、登録するというものでしたので、この間、登録しようと社会福祉協議会へいきましたが、半年に1回、半日ほどの講習を、2回受けてからの登録ときました。また講習時期が3月と10月でしたか、年に2回ぐらいしかない講習を受けないと登録できません。研修は、外部講師の講義で、講師の予定に合わせた日程が組まれています。その日に合わせて講義を受けるには、ちょっと登録しづらいです。救命救急の講義も、先に予約が必要で登録は出来ませんでした。随時募集ということであれば、何とか工夫をしていただいて、登録できるように改善をしていただけないでしょうか。
- 事務局 申し込みをされたのは、提供される側でしょうか、利用される側でしょうか。
- 田中委員 両方を希望しています。内容がよくわからなかったのも、子どもの同級生のお母さんと2人で申し込めば、両方がうまく使えるのではないかと申し込みましたが、結局講習日が決められており、登録がまだできていません。
- 事務局 講習があるのは、提供する側、支援しますよという方の会員ですが、ある一定の時間数の講義を受けなさいと、国が運用上示しているもので、会員の方に、研修を受けて

いただけるように組んでいるのですが、子育てで、専門的な保健師であったり、保育士であったりというところに、講義の依頼を出しているのも、随時となるとなかなか難しい。以前からの課題ですが、町内だけではなく、ほかのところで受講しても、それを資格と認める方向へもっていく話はしていますが、現状、対応できていません。提供会員が、なかなか集まらないということがありますので、そこをなんとか受けやすくしないと、登録が増えないだろうと危機感があります。今後、社会福祉協議会と協議しながら、少しでも受けやすい方法を検討していきたいと思います。

田中委員 ファミリーサポートの件で同時に検討して頂きたい。少し説明は受けたのですが、活動をはじめる前に、必ず社会福祉協議会のほうに今から活動を始めると、事前連絡が必要ということですが、姫路市さんは、事後報告でも大丈夫と聞いています。急に依頼された場合、社会福祉協議会に、今からサポートしますという連絡を入れてと言うのは、ちょっと難しい場面もあるのかと思いますので、事後報告でもいいように、検討をお願いします。

事務局 はいそこは、検討させていただきます。

武田会長 ほかに御質問等がないようでしたら、これで質疑のほうは終わりたいと思います。では、以上をもちまして、本日の議題は終了させていただきます。委員の皆様におかれましては、スムーズな進行に御協力いただき有難うございます。これ以降の進行につきましては、事務局の方にお返ししたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

8. その他 今後のスケジュールについて

9. 閉会

この議事録が真正であることをここに署名する。

令和 元 年 6 月 4 日

署名委員

改發 裕子

署名委員

小島 早苗